

図書館通信 7月号 宇東図書館委員会

梅雨が明け、7月になり……暑い夏がやってきました。今回は、夏休みに読んでほしい本や、読書感想文におすすめの本を紹介します。



『ある晴れた夏の朝』 小手鞠るい 著

「広島・長崎への原爆投下は正しかったのか」—アメリカの高校生8人が、原爆投下の是非について討論します。「ディベート」という形式を用いて、私たちに人間の選択の是非を改めて考える機会を与えてくれる作品です。とても読みやすい文体で書かれているため、重量級のテーマがスッと心に染みていきます。日本に生きる人に、ぜひ読んでほしい一冊です。

『天気の子』 新海誠 著

「高校1年生の夏、主人公の帆高は離島から家出し東京にやってきた。連日降り続ける雨の中、帆高は不思議な能力を持つ少女・陽菜に出会う。『ねえ、今から晴れるよ。』それは祈るだけで空を晴れにできる力だった…。」何度読んでも感動する、夏におすすめの一冊です。



『どこよりも遠い場所にいる君へ』 阿部暁子 著

とある秘密を抱えた少年と、身元不明の謎の少女が離島で織りなす青春群像劇です。読んだ後、あなたはタイトルの真の意味に気付くこととなります。主人公はもちろん、彼らを支える周りの大人たちも魅力的で、とても読みやすい本です。この物語の4年後を描いた作品『また君と出会う未来のために』も、合わせて読んでもらいたいです。

★第68回青少年読書感想文全国コンクール 課題図書★

今年度は、以下の3冊が課題図書に選ばれています。本選びに迷う人など、ぜひ読んでみてください。

分類	書名	シリーズ名他	著者名	請求番号
200 歴史	クジラの骨と僕らの未来	世界をかえる10代からの羅針盤	中村 玄	289-ナ
500 技術	建築家になりたい君へ	14歳の世渡り術	隈 研吾	520-ク
900 文学	その扉をたたく音		瀬尾 まいこ	913.6-セ